

群馬県立しらがね特別支援学校 学校評価一覧表 ② (平成29年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②		
I 児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	① 学校公開を年間3回以上実施し、来校者の95%以上が満足をしている。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部見学会については、多様な見学希望者にしっかりと対応できるよう、見学日を2日に増やす。学校公開については、保護者が参観しやすいよう、日程を工夫する。</li> <li>・臨場感を持った写真掲載を心がけ、なるべく多くの児童・生徒を平等に掲載できるように心がける、その際、モザイク処理などをしっかりと行い個人情報の流出が起きないように努める。</li> </ul>
		② 学校だよりやWebページ等で情報発信を行い保護者や地域の方の95%以上が満足をしている。	B	A	B	
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③ 交流及び共同学習について、保護者や関係機関の90%以上が満足をしている。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりの「交流及び共同学習」に関する内容については、項立てを設けてわかりやすく表示し、理解を深めることができた。</li> <li>・保護者面談やケース会議において、個別の教育支援計画を見ながら詳細を話し合ったが、短い時間の中で説明し、共通理解をすることが難しい場合もあった。</li> </ul>
		④ 「個別の教育支援計画」について、保護者の85%以上が内容に満足している。	A	A	A	
II 地域の特別支援教育に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 幼稚園、小・中・高等学校等に在籍する障害のある児童生徒等の教育について、助言援助に努めていますか。	⑤ 地域の幼、小、中、高等学校等の求めに応じて相談・支援を100%実施している。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼に応じて、相談・支援を100%実施することができたが、依頼件数が多いために、希望時期より遅れて訪問したケースがあった。</li> <li>・講演会では80%以上の参加者に満足いただいたが、他の内容についても取り上げて欲しいとの依頼もあった。</li> </ul>
		⑥ 講演会では80%以上の参加者が満足している。	A	A	A	
III 児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦ 児童生徒の学習状況や生活状況について、学園職員や保護者と確認する機会を年間3回以上実施している。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議及び保護者面談は計画通り学期に1回、実施することができた。</li> <li>・個別の指導計画の形式をわかりやすくし、配布する方向で検討していく。</li> </ul>
		⑧ 子どもの学校の様子について、学校からの情報提供が適切に行われていると保護者の85%以上が感じている。	A	B	B	
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑨ 「個別の指導計画」に掲げた目標の達成率が90%以上である。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成度について職員と保護者で認識の差が大きかった。</li> <li>・個別の指導計画について、保護者との共通理解を深めるために、手渡す方向で検討する。</li> </ul>
		⑩ 「個別の指導計画」に基づいた指導結果について保護者の85%以上が満足している。	B	B	B	
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑪ 児童生徒の健康上の配慮について保護者の80%以上が満足をしている。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の数値には達しなかったが、「受診のすすめ」や「保健便り」等での呼びかけにより、2学期始めの61%から3学期始めの72%へと、受診率が上がった。</li> <li>・受診率が低い疾病について、その疾病と健康の関係についても「保健便り」等で多めに触れるなどして、受診率の向上を図る。</li> </ul>
		⑫ 健康診断終了後、異常が発見された児童生徒の受診率が80%以上である。	A	B	B	
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑬ 全教職員が緊急時対応訓練に年間3回以上参加し、具体的対応について、すべての職員が理解できている。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒も参加しながら学園との合同火災避難訓練や地震対応訓練が実施できた。不審者対応訓練については職員がロールプレイを行うことで、実際に不審者が校舎内に侵入した場合の安全確保について確認することができた。</li> <li>・不審者対応訓練については職員向けの防犯訓練を行い、それを受けて児童生徒も参加しながら不審者対応訓練を実施できるように計画し、取り組んでいく。</li> </ul>
8 年間を通じて、計画的な生活・安全指導が行われていますか。	⑭ いじめの未然防止に向けた取組について保護者の90%以上が満足している。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じたあいさつ運動、学期毎の教育相談週間を実施することができた。また、いじめの早期発見を行い、生徒指導部を中心として組織的に対応することができた。</li> <li>・教育相談週間の体制や対応方法等について見直しを行っていく。また、特別指導マニュアルを完成させ、実施できるように取り組んでいく。</li> </ul>	
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	9 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑮ 発達段階に応じた進路指導を行うために、学部間での情報交換を年間3回以上行っている。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導主事が、小中学部の校内就業体験の見学と担当者との情報交換を2回実施した。</li> <li>・進路指導主事が、小中学部の校内就業体験の見学と担当者との情報交換をし、それを進路指導に生かしていく。</li> </ul>
		⑯ 進路関係の行事や進路に関する情報について、保護者の80%以上が満足している。	A	A	A	
	10 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑰ 進路先や関係機関との連携について保護者が80%以上が満足している。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路関係の行事や進路に関する情報提供を滞りなく行った。</li> <li>・進路関係の行事や進路に関する情報提供をさらに充実する。</li> <li>・高等部3年生は、進路先、関係機関の一覧表を作成し、十分な連携がとれた。まずは担任が、受け持った児童生徒の家庭状況と社会の福祉情報を把握し、進路指導主事への質問などをするようになって欲しい。</li> <li>・担任が覚えるべき進路に関することや保護者対応の仕方を、各部主事・進路指導主事・学年主任が指導していく。</li> </ul>